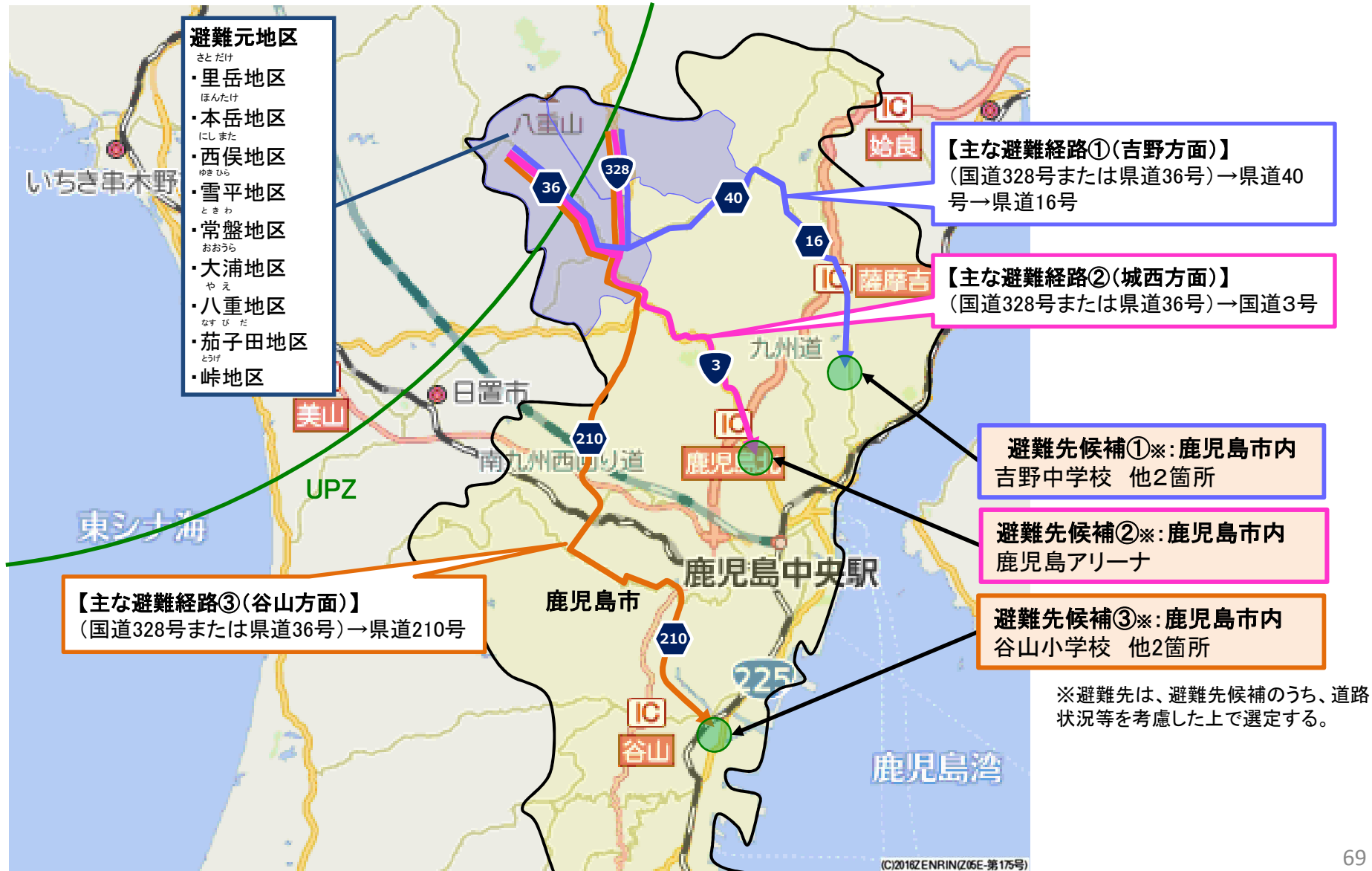


# UPZ内から避難先施設までの主な経路（鹿児島市）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



# UPZ内から避難先施設までの主な経路（出水市①）

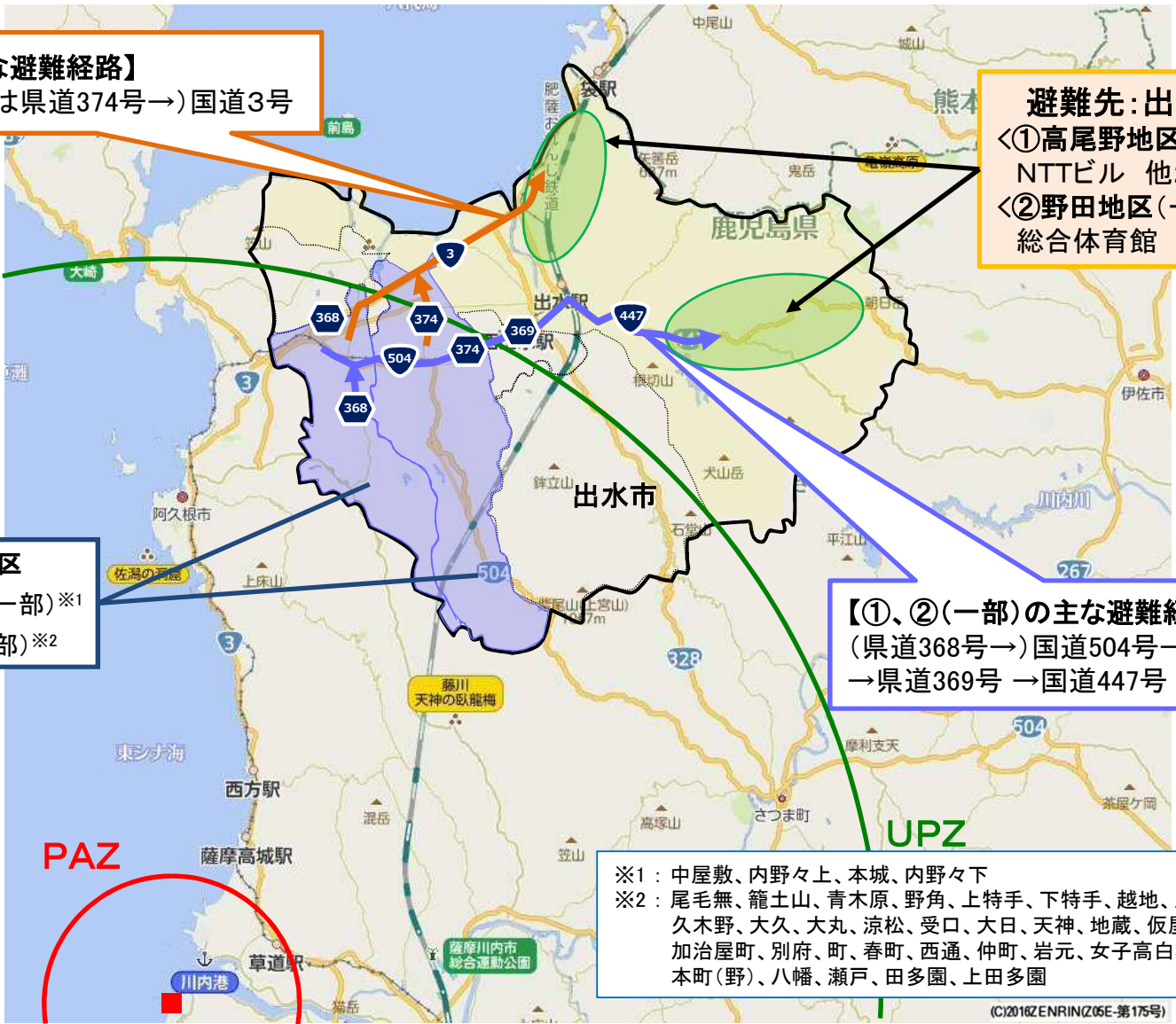
➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。

【②(一部)の主な避難経路】  
(県道368号または県道374号→)国道3号

避難先:出水市内  
 <①高尾野地区(一部)>  
 NTTビル 他2箇所  
 <②野田地区(一部)>  
 総合体育館 他14箇所

避難元地区  
 ①高尾野地区(一部)※1  
 ②野田地区(一部)※2

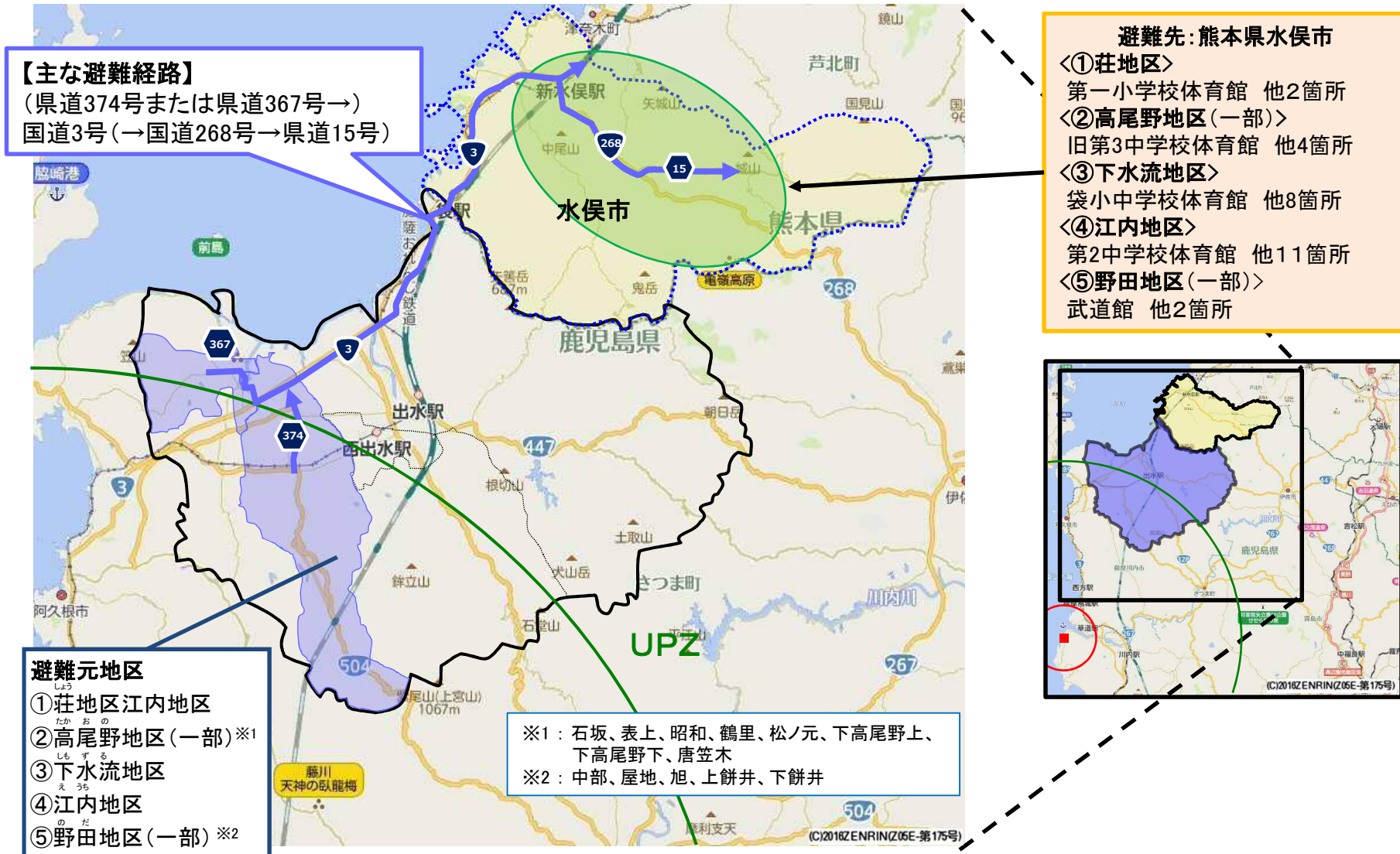
【①、②(一部)の主な避難経路】  
 (県道368号→)国道504号→県道374号  
 →県道369号 →国道447号



※1：中屋敷、内野々上、本城、内野々下  
 ※2：尾毛無、籠土山、青木原、野角、上特手、下特手、越地、川平、久木野、大久、大丸、涼松、受口、大日、天神、地藏、仮屋、加治屋町、別府、町、春町、西通、仲町、岩元、女子高白梅寮、本町(野)、八幡、瀬戸、田多園、上田多園

# UPZ内から避難先施設までの主な経路（出水市②）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。





## UPZ内から避難先施設までの主な経路（出水市③）

- 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。

### 【主な避難経路】

県道374号→県道369号→(国道447号または(国道328号→国道504号))→国道267号→国道268号

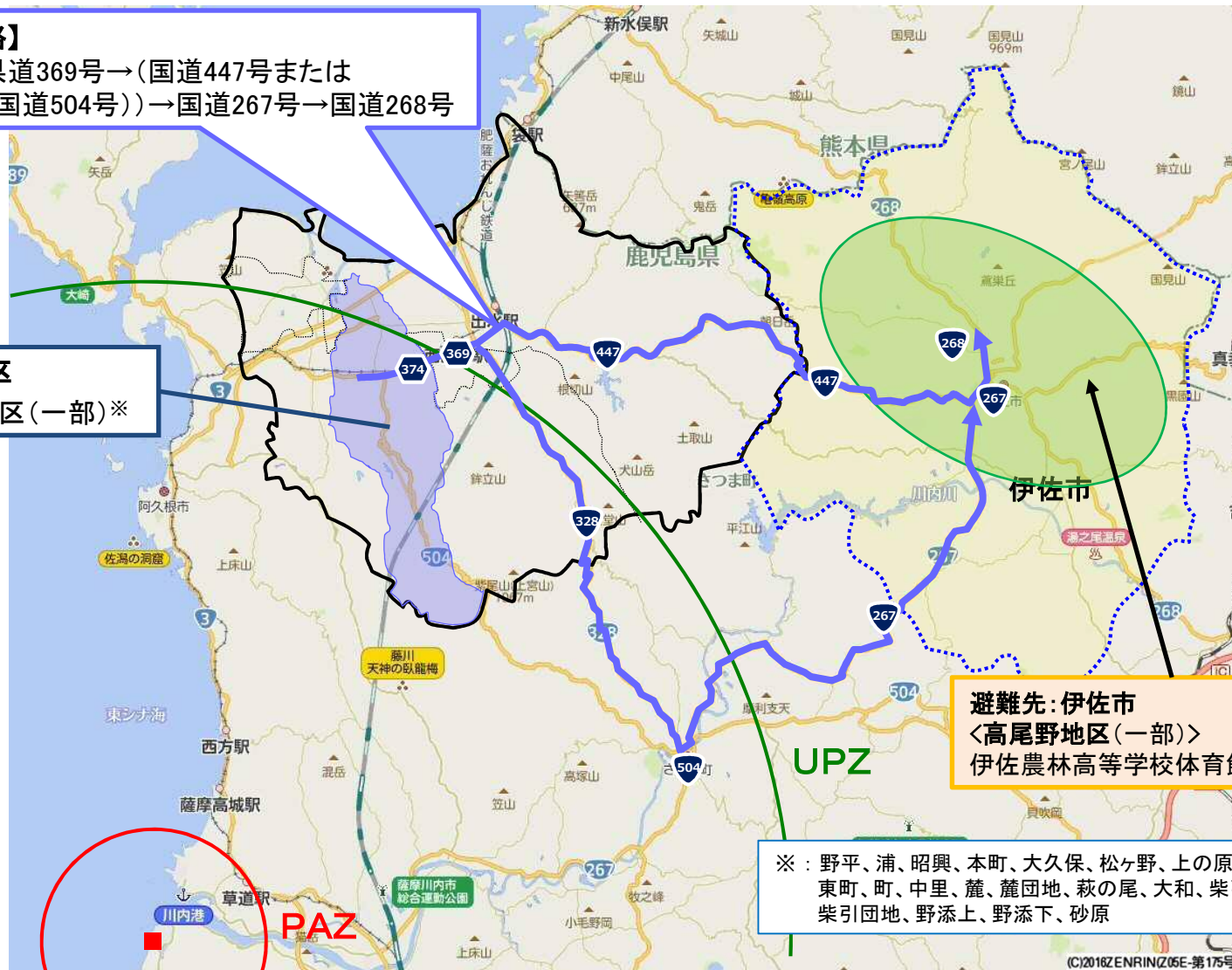
### 避難元地区

・高尾野地区(一部)※

### 避難先:伊佐市

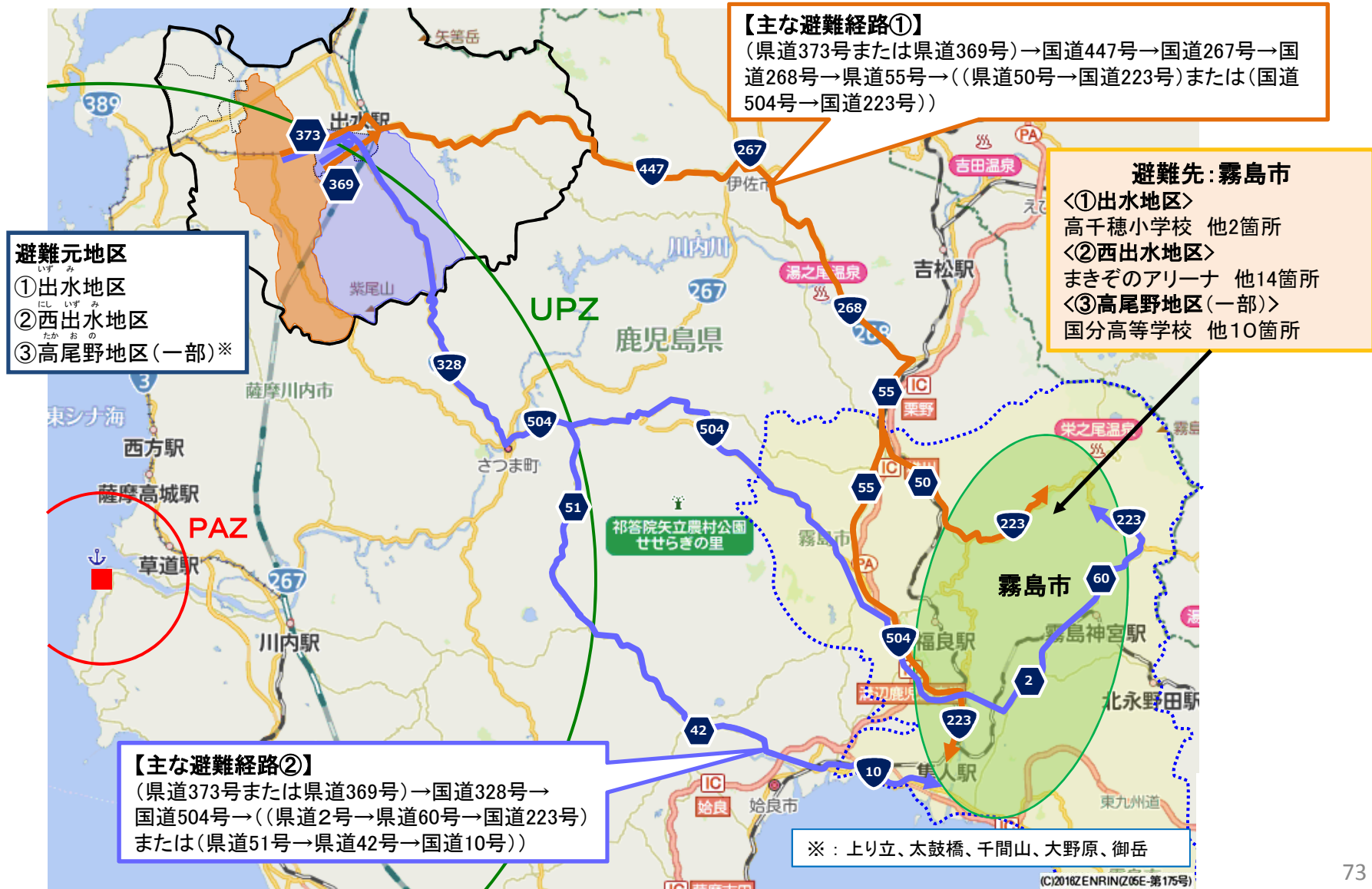
〈高尾野地区(一部)〉  
伊佐農林高等学校体育館 他27箇所

※：野平、浦、昭興、本町、大久保、松ヶ野、上の原、東町、町、中里、麓、麓団地、萩の尾、大和、柴引、柴引団地、野添上、野添下、砂原



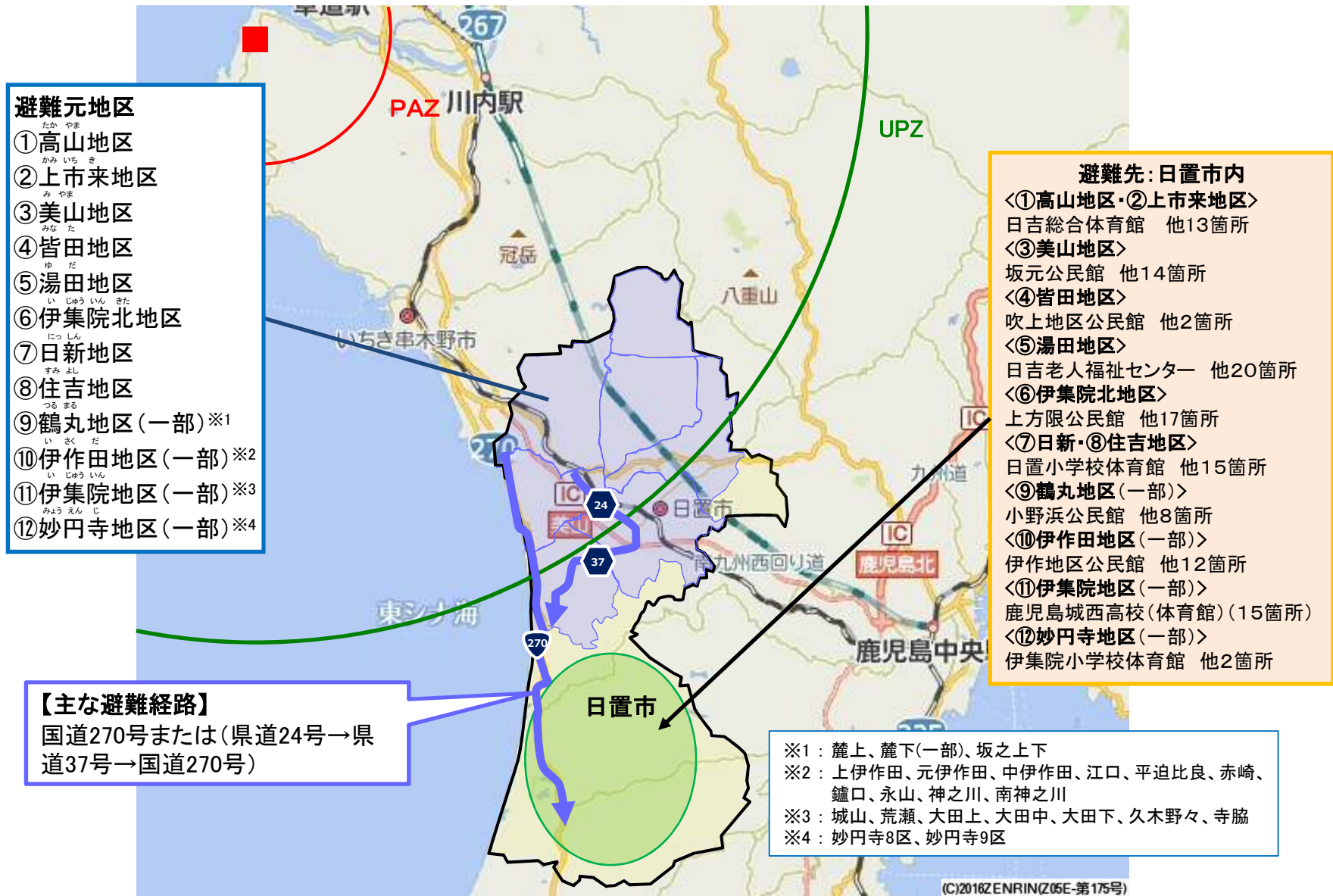
# UPZ内から避難先施設までの主な経路（出水市④）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



# UPZ内から避難先施設までの主な経路（日置市①）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。





# UPZ内から避難先施設までの主な経路（日置市②）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。

- 避難元地区**
- ①鶴丸地区（一部）※1
  - ②伊作田地区（一部）※2
  - ③伊集院地区（一部）※3
  - ④妙円寺地区（一部）※4
  - （美山地区）
  - （皆田地区）
  - （湯田地区）

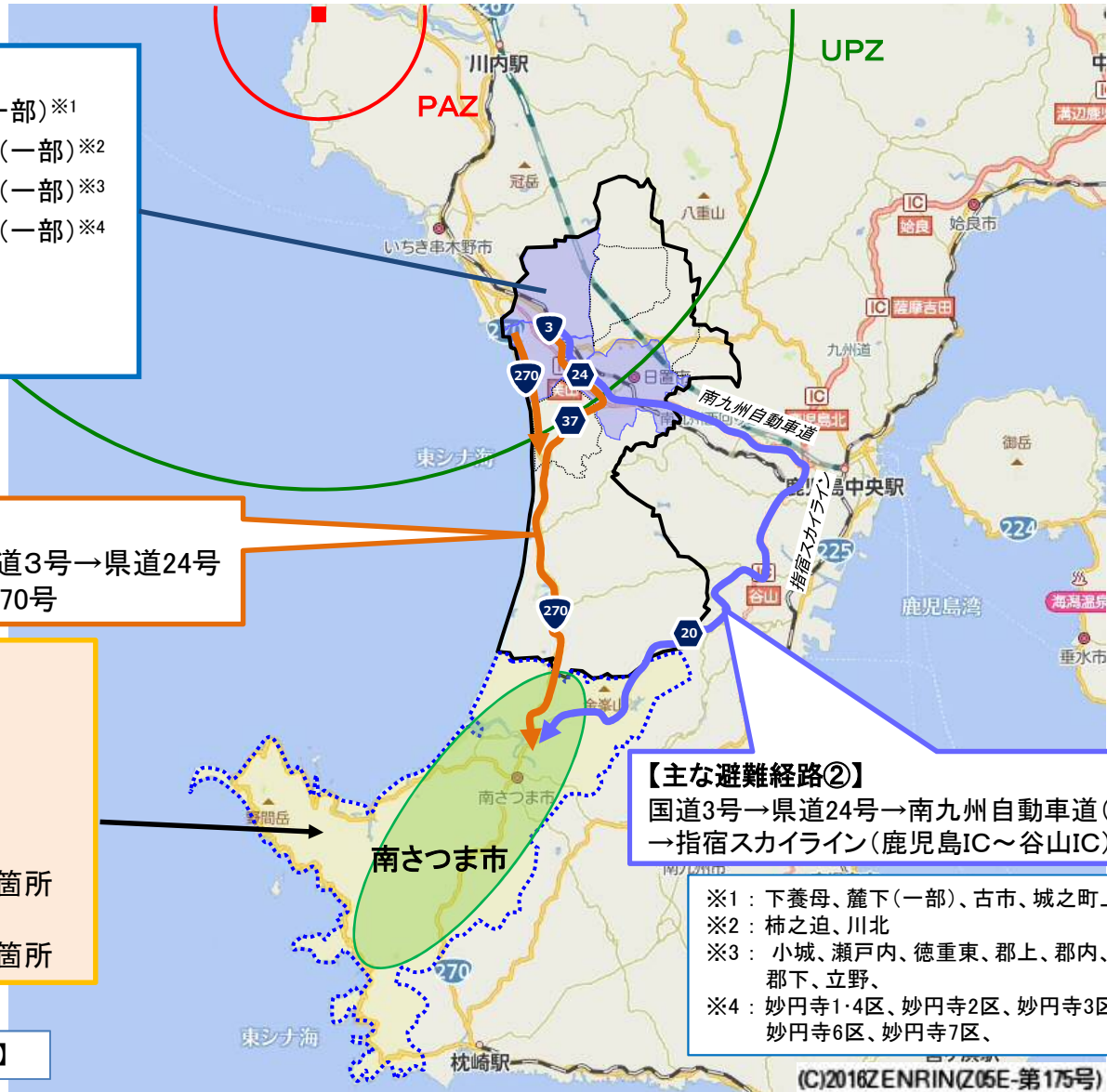
**【主な避難経路①】**  
 （国道270号または（国道3号→県道24号→県道37号）→国道270号

- 避難先：南さつま市**
- <④鶴丸地区（一部）>  
大阪地区体育館 他8箇所
  - <⑤伊作田地区（一部）>  
旧大坂小学校
  - <⑥伊集院地区（一部）>  
大笠中学校体育館 他15箇所
  - <⑦妙円寺地区（一部）>  
金峰中学校体育館 他11箇所

**【主な避難経路②】**  
 国道3号→県道24号→南九州自動車道（美山IC～鹿児島IC）→指宿スカイライン（鹿児島IC～谷山IC）→県道20号

- ※1：下養母、麓下（一部）、古市、城之町上、城之町、杉之迫
- ※2：柿之迫、川北
- ※3：小城、瀬戸内、徳重東、郡上、郡内、宮脇、中福良、平古、郡下、立野、
- ※4：妙円寺1・4区、妙円寺2区、妙円寺3区、妙円寺5区、妙円寺6区、妙円寺7区、

（）記載の地区は【資料P74参照】



# UPZ内から避難先施設までの主な経路（始良市）

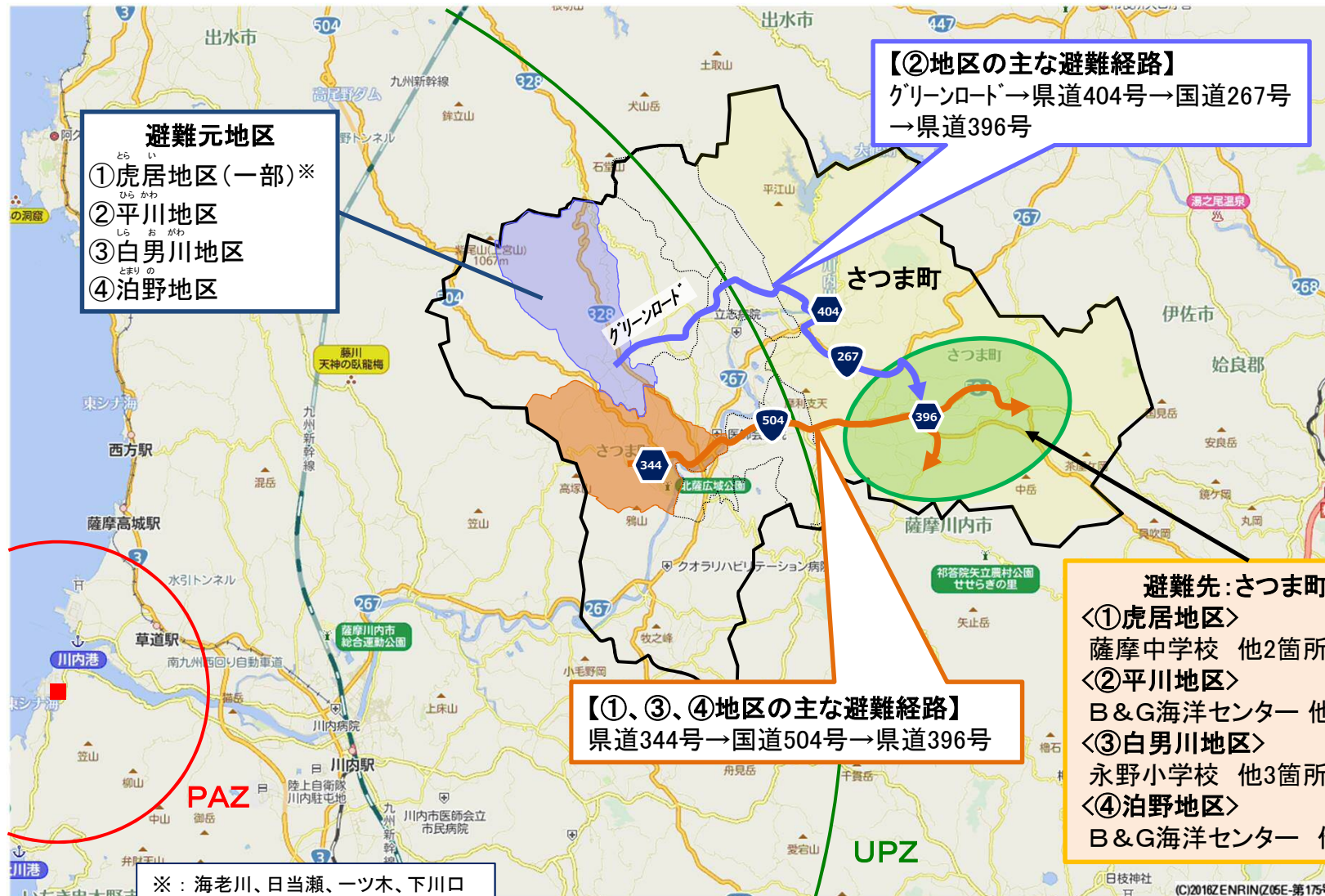
- 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。





# UPZ内から避難先施設までの主な経路（さつま町①）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



# UPZ内から避難先施設までの主な経路（さつま町②）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。

## 避難元地区

- ①時吉地区
- ②柗野地区
- ③湯田地区
- ④佐志地区
- ⑤神子地区
- ⑥柏原地区
- ⑦紫尾地区  
(宮之城屋地地区)

## 【①、②、⑤、⑦地区の主な避難経路】

(県道397号→国道267号→県道396号→国道504号→((県道50号→国道223号→県道60号)または(県道2号→県道60号))

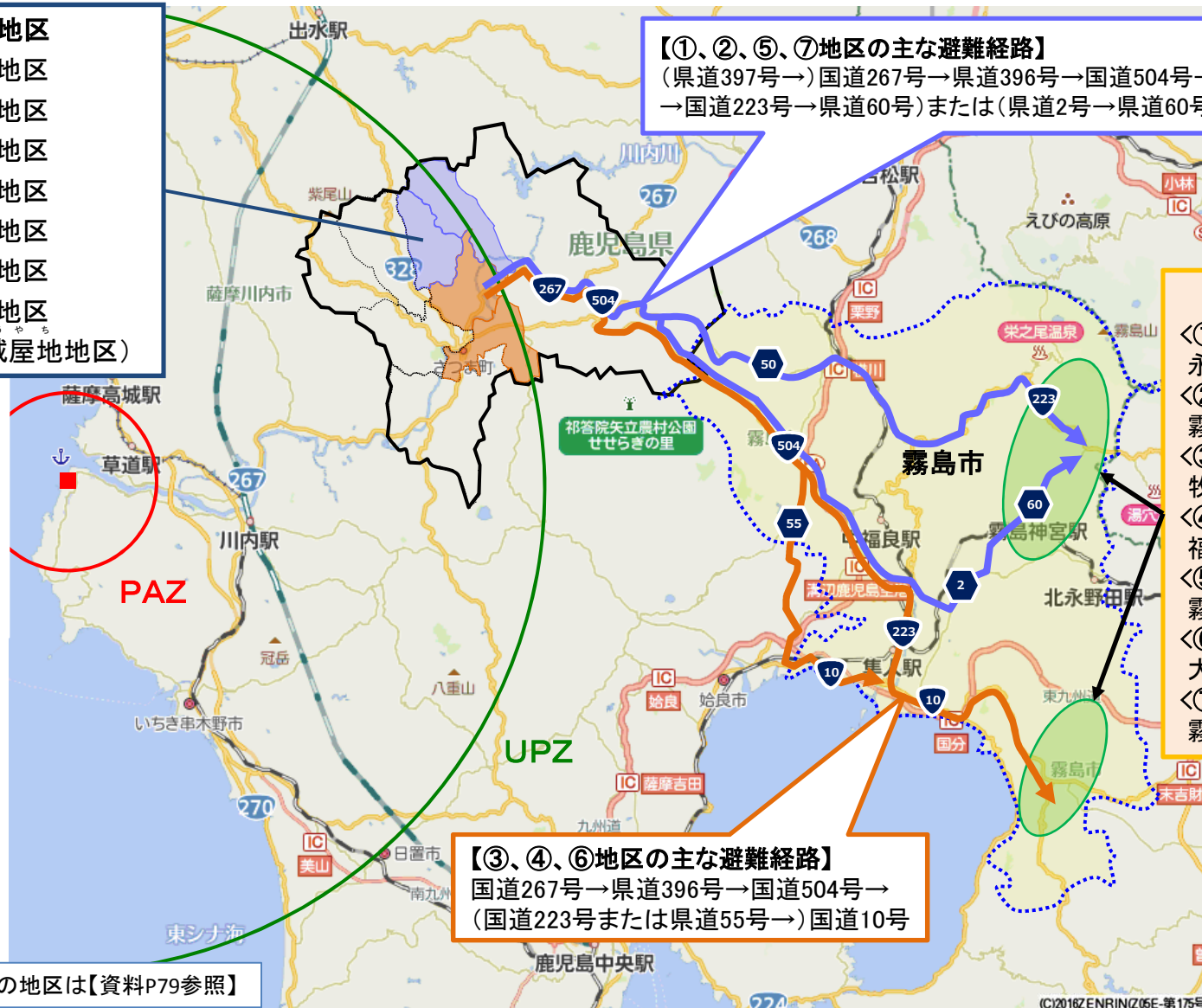
## 避難先：霧島市

- <①時吉地区>  
永水小学校 他2箇所
- <②柗野地区>  
霧島緑の村
- <③湯田地区>  
牧之原小学校 他7箇所
- <④佐志地区>  
福地地区体育館 他6箇所
- <⑤神子地区>  
霧島保健福祉センター
- <⑥柏原地区>  
大廻地区体育館 他17箇所
- <⑦紫尾地区>  
霧島小学校 他3箇所

## 【③、④、⑥地区の主な避難経路】

国道267号→県道396号→国道504号→  
(国道223号または県道55号→)国道10号

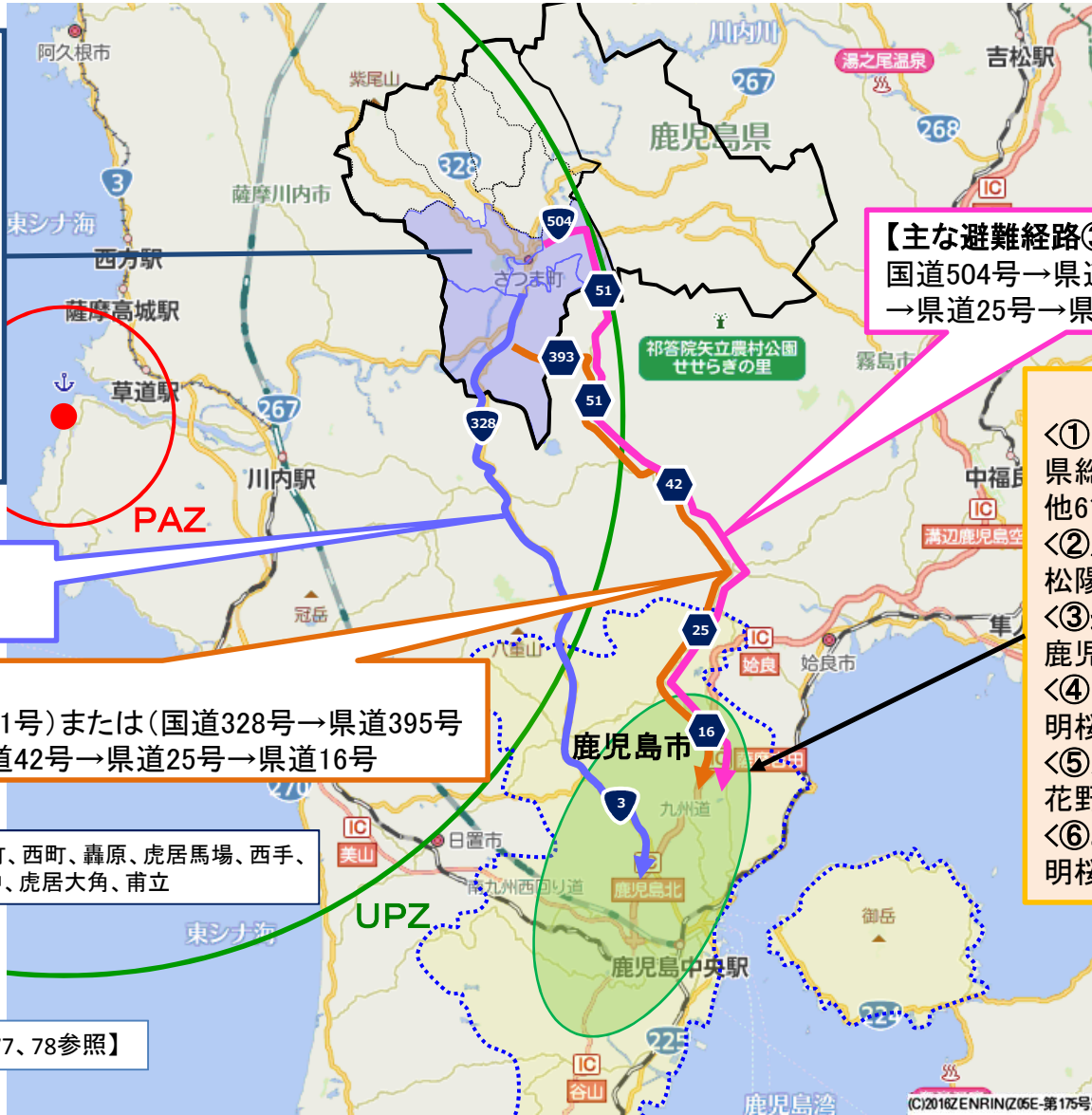
( )記載の地区は【資料P79参照】



# UPZ内から避難先施設までの主な経路（さつま町③）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。

- 避難元地区**
- ①宮之城屋地地区
  - ②虎居地区(一部)※1
  - ③船木地区
  - ④山崎地区
  - ⑤久富木地区
  - ⑥二渡地区  
(白男川地区)  
(時吉地区)  
(佐志地区)



**【主な避難経路①】**  
国道328号→国道3号

**【主な避難経路②】**  
((県道393号→県道51号)または(国道328号→県道395号→県道211号))→県道42号→県道25号→県道16号

※1：虎居町、東町、西町、轟原、虎居馬場、西手、上向、上向中、虎居大角、甫立

**【主な避難経路③】**  
国道504号→県道51号→県道42号→県道25号→県道16号

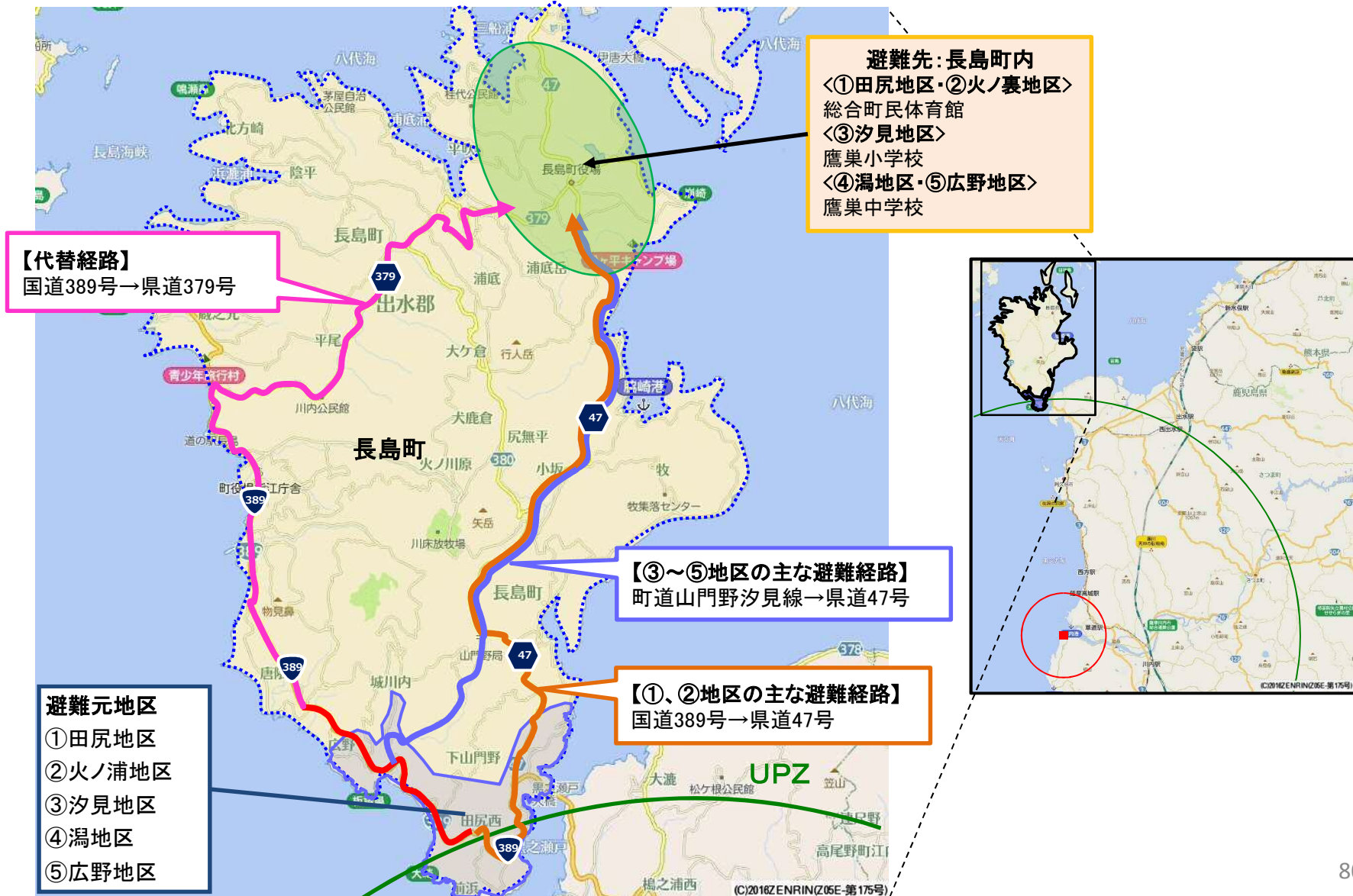
- 避難先：鹿児島市**
- <①宮之城屋地地区>  
県総合体育センター体育館  
他6箇所
  - <②虎居地区>  
松陽高校体育館 他4箇所
  - <③船木地区>  
鹿児島東高校 他3箇所
  - <④山崎地区>  
明桜館高校体育館 他2箇所
  - <⑤久富木地区>  
花野小学校 他3箇所
  - <⑥二渡地区>  
明桜館高校体育館 他3箇所

( )記載の地区は【資料P77、78参照】



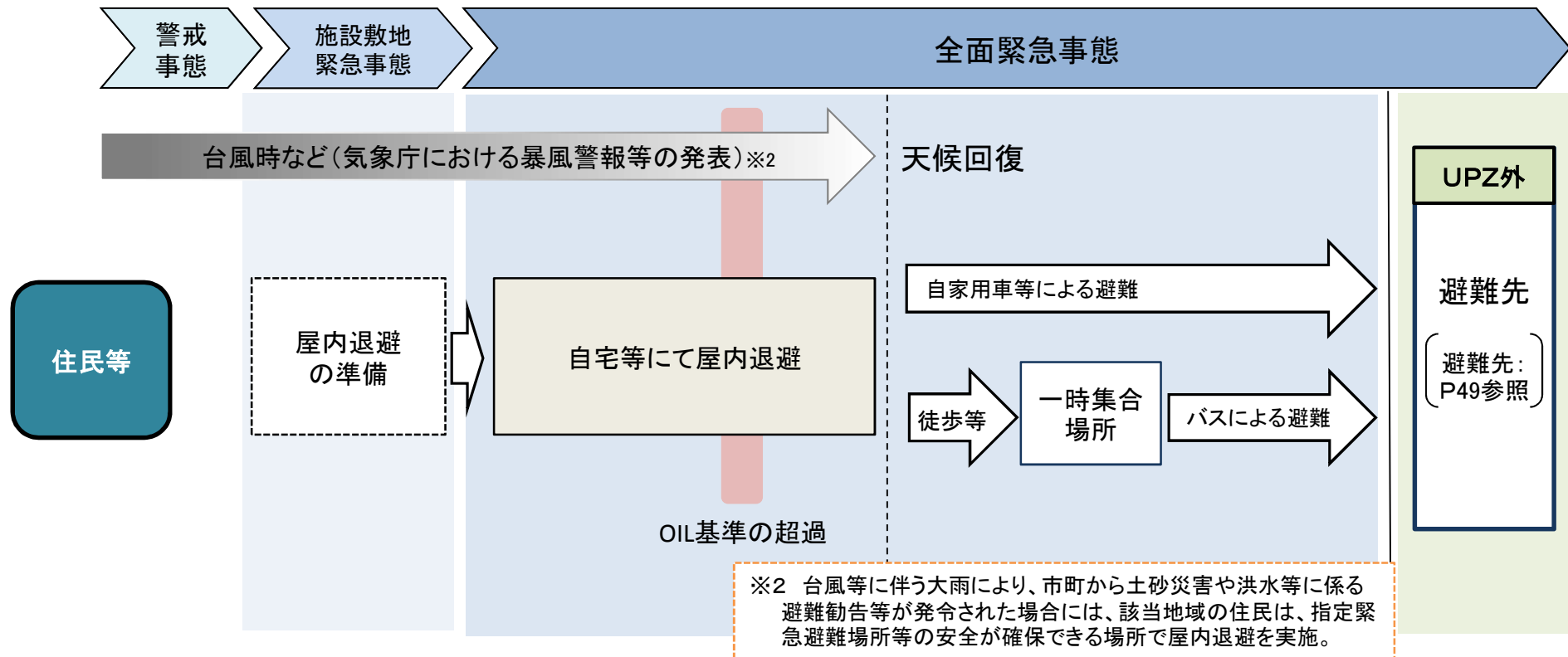
# UPZ内から避難先施設までの主な経路（長島町）

➤ 地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等によりその避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。



- OIL基準により一時移転等が必要な場合であっても、台風等により気象庁から暴風警報等が発表され、外出をすることで命に危険が及ぶような場合には、無理に避難せずに、安全が確保されるまでは、屋内退避を優先。
- その後、例えば天候が回復するなど、安全が確保できた場合には、一時移転等を実施※1。

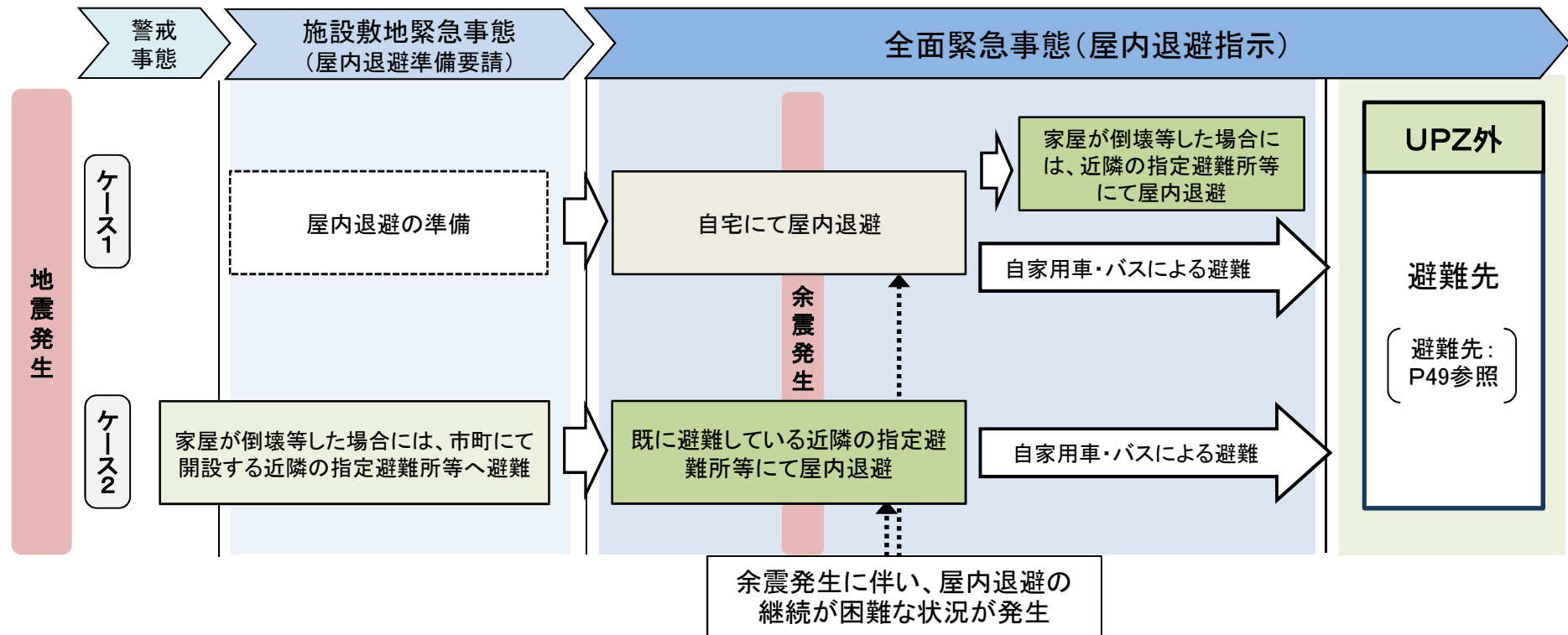
## <全面緊急事態で天候が回復した場合の対応の例> (外出をすることで命に危険が及ぶような場合)



※1 仮に、放射性物質放出に至った場合に避難するような場合には、住民の被ばく量を可能な限り低減するため、身体に放射性物質が付着しないようにレインコート等を着用したり、放射性物質を体内に吸い込まないようマスクをしたり、タオルやハンカチ等で口や鼻を覆う等の対策を周知。

- 地震による家屋の倒壊等により、家屋における滞在が困難な場合には、安全確保のため市町にて開設する近隣の指定避難所等に避難を実施。
- その後、全面緊急事態となり、屋内退避指示が出ている中で余震が発生し、家屋や既に避難している近隣の指定避難所等への被害が更に激しくなる等、屋内退避の継続が困難な場合には、人命の安全確保の観点から地震に対する避難行動を最優先することが重要。このことから、市町にて開設するUPZ内の別の指定避難所等や、あらかじめ定められているUPZ外の避難先へ速やかに避難を行う※2。
- なお、屋内退避指示中に避難を実施する際には、国及び鹿児島県等は、住民等の避難を安全かつ円滑に実施するため、避難経路や避難手段のほか、原子力発電所の状況や緊急時モニタリングの結果、気象情報等の情報共有や緊急時の対策についての確認・調整等を行う。

## ＜屋内退避中に余震が発生し被害が激しくなった場合＞



※1 津波との複合災害時における場合もケース2と同様に、まずは津波による人命へのリスクを回避するため、津波に係る指定緊急避難場所等の安全が確保できる場所に避難を実施。津波警報解除等津波に対する安全が確保できた場合には、避難経路等を確認した上で避難を実施する。

※2 仮に、放射性物質放出に至った場合に避難するような場合には、住民の被ばく量を可能な限り低減するため、身体に放射性物質が付着しないようにレインコート等を着用したり、放射性物質を体内に吸い込まないようにマスクをしたり、タオルやハンカチ等で口や鼻を覆う等の対策を周知。

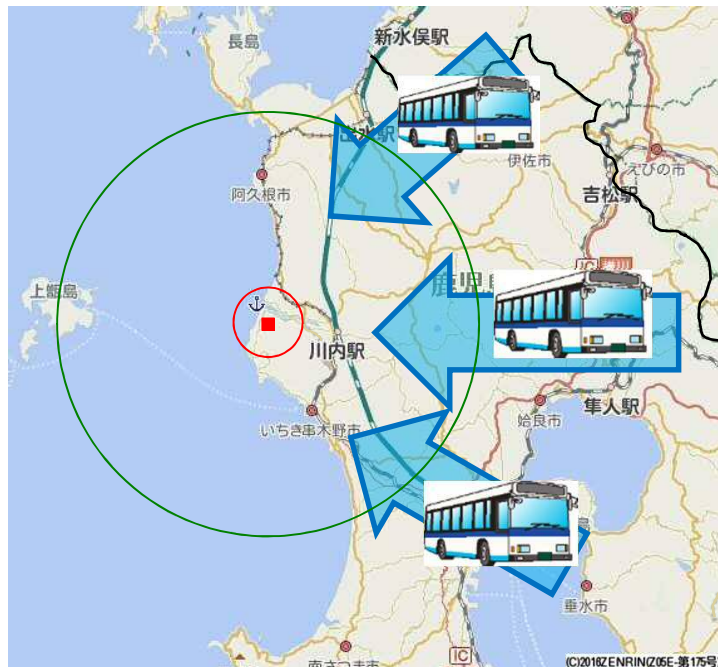


# UPZ内の一時的移転等に必要となる輸送能力の確保

UPZ内で一時移転等は、緊急時モニタリングの結果に基づき、原子力災害対策指針で定める基準(OIL)に基づき、空間放射線量率が基準値を超える区域を特定し、当該区域の住民が一時移転等を実施する。一時移転が必要となった場合の輸送能力の確保については、

- 鹿児島県が、「災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」に基づき、県内のバス会社から必要となる輸送手段を確保する。鹿児島県内の輸送手段では不足する場合、他県との応援協定に基づき、隣接県等から輸送手段を確保する。
- 鹿児島県が確保した輸送手段で対応できない場合、国の原子力災害対策本部からの依頼に基づき、国土交通省が関係団体、関係事業者に対し、協力を要請し必要な輸送能力を確保する。

協力事業者	保有台数 (台)
33社	約1,400



## 災害時におけるバスによる緊急輸送等に関する協定 (平成27年6月26日)

### 【対象】

公益社団法人鹿児島県バス協会

### 【協力内容】

- ①被災者（滞留者を含む。）及び救援者等の輸送業務
- ②ボランティアの輸送業務
- ③災害応急対策の実施のために必要な人員及び携行する資機材等の輸送業務
- ④その他必要なバスによる支援業務

## 九州・山口9県災害時応援協定 (平成23年10月31日)

### 【対象】

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

### 【応援内容】

- ①職員の派遣
- ②食料、飲料水及び生活必需品の提供
- ③避難施設及び住宅の提供
- ④緊急輸送路及び輸送手段の確保
- ⑤医療支援
- ⑥その他応援のため必要な事項

隣接県 (熊本県・宮崎県)  
指定地方公共機関 (バス会社)  
保有台数: 約2,500台



※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合は、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施

# 他の地方公共団体からの応援計画

➤ 原子力災害又は地震、津波との複合災害が発生した場合、国からの支援のほか、鹿児島県に対する関係地方公共団体からの支援策として、7つの応援協定を締結。

## ㉠九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定（平成23年2月28日）

### 【対象】

国土交通省九州地方整備局、鹿児島県土木部

### 【応援内容】

- ①施設の被害状況の把握
- ②情報連絡網の構築
- ③現地情報連絡員の派遣
- ④災害応急措置
- ⑤その他必要と認められる事項

## ㉡九州・山口9県災害時応援協定（平成23年10月31日）

### 【対象】

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

### 【応援内容】

- ①職員の派遣
- ②食料、飲料水及び生活必需品の提供
- ③避難施設及び住宅の提供
- ④緊急輸送路及び輸送手段の確保
- ⑤医療支援
- ⑥その他応援のため必要な事項

## ㉢関西広域連合と九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定（平成23年10月31日）

### 【対象】

関西広域連合（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）、九州地方知事会（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県）

### 【応援内容】

- ①職員の派遣
- ②食料、飲料水及び生活必需品の提供
- ③避難施設及び住宅の提供
- ④緊急輸送路及び輸送手段の確保
- ⑤医療支援
- ⑥その他応援のため必要な事項

## ㉣災害時における鹿児島県・岐阜県相互応援協定（平成23年11月7日）

### 【応援内容】

- ①必要な物資、資機材等の提供
- ②職員の派遣
- ③被災者の受入れに必要な避難・収容施設及び住宅の提供
- ④その他災害応急措置及び災害復旧対策に必要な事項

## ㉤鹿児島県と静岡県との災害時の相互応援等に関する協定（平成23年11月14日）

### 【応援内容】

- ①災害応急対策を行う職員の派遣
- ②避難所や災害対策本部等で必要となる物資の調達及び配送
- ③その他被災県が要請した措置

## ㉥全国都道府県における災害時等の広域応援に関する協定（平成24年5月18日）

### 【応援内容】

- ①人的支援及び斡旋
  - ・救助及び応急復旧等に必要な要員
  - ・避難所の運営支援に必要な要員
  - ・支援物資の管理等に必要な要員
  - ・行政機能の補完に必要な要員
  - ・応急危険度判定士、ケースワーカー、ボランティアの斡旋
- ②物的支援及び斡旋
  - ・食料、飲料水及びその他生活必需物資
  - ・応急復旧に必要な資機材及び物資
  - ・救援及び救助活動に必要な車両、船艇等
- ③施設又は業務の提供及び斡旋
  - ・ヘリコプターによる情報収集
  - ・傷病者の受入れのための医療機関
  - ・被災者を一時収容するための施設
  - ・火葬場、ゴミ・し尿処理業務
  - ・仮設住宅用地
  - ・輸送路の確保並びに物資調達及び輸送調整の支援
- ④その他特に要請のあったもの

## ㉦原子力災害時の相互応援に関する協定（平成13年1月31日）

### 【対象】

北海道、青森県、宮城県、福島県、茨城県、新潟県、石川県、福井県、静岡県、京都府、島根県、愛媛県、佐賀県、鹿児島県

### 【応援内容】

- ①原子力防災資機材の提供
  - ・緊急時モニタリング資機材
  - ・原子力防災活動資機材
  - ・緊急時医療資機材
- ②職員の派遣
  - ・緊急時モニタリング関係職員
  - ・緊急時医療関係職員
  - ・その他災害対策関係職員

